さいわい虹便り

No.86

発行者　深井純子　吉田唯之　齊藤淳子　小島ゆかり

作品紹介

さいわい訪問看護ステーションのご利用者
高梨真代様お母さまの作品です。

高梨真代さん

作品をつくるきっかけは、友達から勧められてパッチワークを始めたことだそうです。忙しい合間を縫っていつも工夫を凝らした作品を楽しませてくださいます。

華やかなマスク
必需品です

歯ブラシを工夫した
パソコン用埃とり

新入職者紹介

新川崎居宅介護支援事業所
澤田　明希

新川崎居宅介護支援事業所に入職しました澤田明希です。今までは、横浜市の地域ケアプラザで居宅のケアマネジャーをしていました。

利用者様が住み慣れた地域で元気で明るく過ごしていただけるように精一杯お手伝いさせていただきたいと思っています。

ちなみに趣味は食べることですが、最近は体重を気にしつつ楽しんでおります。地元のおすすめ店がありましたら教えてください。

これからどうぞよろしくお願いいたします。

さいわい虹便りは、ホームページでもご覧いただけます。
（バックナンバーも公開中です。）

さいわい虹だより

https://sekishinkai-zaitaku.jp

QRコードからも
アクセスできます

「防災」

さいわい訪問看護ステーションの災害対策

【災害対策を行うきっかけ】

私たちの地域は、幸いにもこれまで大きな災害にほとんど見舞われることなく過ごしてくることができました。しかし、各地では大地震や豪雨被害が頻発しています。

災害時は『自分の身は自分で守る』ことが基本です。私たち看護師は、災害時に緊急対応したくてもすぐに対応ができるとは限りません。そんなところから『天災は忘れたころにやってくる』を肝に銘じて、事前対策をしておくことの大切さを感じ、遡ること平成十八年四月から災害対策に取り組み始めました。

今回は、その対策の一例をご紹介いたします。

年	訪問看護ステーションの取り組み	主な災害
平成十八年四月	災害に関する基本的事項 ・災害の定義・分類・サイクル ・訪問看護の役割・課題	新潟中越沖地震（M6・8） 梅雨前線豪雨（九州・長野）
平成二十一年四月	災害前・中・後の対策を検討 優先順位やトリアージ表の検討	新潟中越沖地震（M6・8）
平成二十三年四月	災害時の医療機器別利用者名簿作成（災害トリアージ表） 防災チェックリスト作成	岩手・宮城内陸地震（M7・2）
平成二十五年四月	医療機器別防災チェックリストを実際の利用者へ使用し改良点を探る	東日本大震災（M9・0） 秋雨前線豪雨（広島県）
平成二十七年四月	利用者名簿の更新方法を検討 災害対策を看護計画書に反映させていくことを検討・実施	熊本地震（M7・3）
平成三十年四月	医療機器別防災チェックリストの見直し	大阪北部地震（M6・1）
令和一年十月	地震以外、風水害を加えた利用者名簿の検討 ハザードマップを活用した対策	北海道胆振東部地震（M6・7） 東日本台風十九号豪雨

防災チェックリスト（人工呼吸器）一部例

○○様のための防災チェックリスト＜人工呼吸器＞

災害前	何を 準備するか 最低 3日分	□　呼吸器予備本体 □　充電器　□　充電池　□回路一式 □　カニューレ（　Fr）　□　人工鼻 □　加湿器用水　□　アンビューバック □　衛生材料（アルコール綿　ガーゼ　テープ） □　薬剤（　　）
災害前	誰と何を 話し合うか 確認	**【本人・家族と】** 安全対策の確認 人工呼吸器等身の回りの物品の転倒防止策 停電時のバッテリーの切り替え方法 補助呼吸（アンビューバック）の使用方法 日頃からのトレーニング、誰と誰ができるか **【主治医と】** 病状と合わせて非常時の呼吸器使用の是非 トラブル時の対応方法と指示の確認 **【機器業者と】** 緊急時連絡方法　停電時の注意事項
災害時	支援者 連絡先	□家族　□近隣者　□友人・知人　□民生委員 連絡先TEL：

他にも、吸引器、在宅酸素、経管栄養、インシュリン、人工透析等、十種類の防災チェックリストを作成しています。

災害対策

【災害トリアージ表の作成】

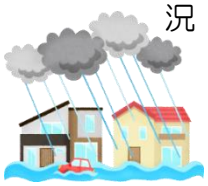
利用者様ごとに個別の情報をリスト化しています

・利用者様の移動手段・近隣支援の有無・家族状況
・医療機器の使用有無
・関係機関・ケアマネジャー・介護事業所の担当者・連絡先
・浸水・土砂災害警戒区域の有無

【ハザードマップで居住地位置の確認】

大雨等が予測される場合に早めの避難行動が取れるように

・川崎市で作成しているハザードマップを利用して利用者様の居住地に印をつけて水害や土砂災害エリアの把握をしています。



災害対策の課題

一、大きな災害に見舞われることが少ない地域のため、災害対策の意識が薄れやすく対策検討が後回しになる

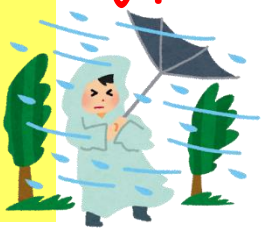
二、利用者名簿やマニュアルを定期的に見直す時間の確保が難しい

三、近隣エリアの訪問看護ステーションとの協力や介護サービス事業所、ケアマネジャー等との連携が必要であるがどのように連携をすればよいのか取り掛かりが困難

四、災害対策の中に新たに**感染症対策**も検討する必要がある

これらの課題を、解決できるよう今後もスタッフ一同で検討していきたいと思います。

風水害の時
ペットと避難する際のお願い



風水害の時には！
ペットも避難所に連れていくことができます。

※震災の際には各避難所の判断により異なりますので
ご注意ください。

①必ずケージを持参してください。

ケージに入っていない動物は避難所に入れません
避難所にケージ等の準備はありません
チャックの無い袋やリュックは不可です

②飼い主明示をしてください。

ネームプレート等をつけてください
犬は首輪に鑑札、狂犬病予防注射済票をつけて、
リードも持参してください

③餌、水、器、掛け布、ゴミ袋、ペットシーツ、雑巾をご用意ください。

その他必要な物を準備しましょう

④避難所では、人の避難スペースに一緒に入ることができません。

同伴避難ではなく、
同行避難です！

⑤帰宅時はケージ周辺を掃除して、ゴミは各自で持ち帰ってください。

ワクチン接種や駆虫は普段から行い、避難所での
感染症を防ぎましょう

お問い合わせ先

避難所運営に関すること　各区役所危機管理担当
ペットに関すること　各区役所衛生課
川崎市健康福祉局保健所生活衛生課
☎０４４（２００）２４４７

編集後記

まだ暑い日が続いています。マスクをしていると喉の渇きに気づきにくいことがあります。熱中症予防のためにもこまめな水分補給を心掛けてくださいね。

編集者　森由貴　本間有由実　新庄裕子　宮本祥代